

# やまめ



洗出地区



洗出地区

## 7月4日 九州南部豪雨災害



鴛山地区



高野地区



山回地区



TEC-FORCE 災害報告 (国土交通省)



折立地区



小鶴地区



折立地区

# こんなことが決まりました

## 2,109万8,000円が五木村に 新型コロナ関連地方創生として交付

令和2年敬老式典は、新型コロナウイルス感染症防止のため従来の敬老式典はやむを得ず中止し減額。しかし、今後対策費を計上、一般会計補正予算1億4,328万円を追加可決した。

令和2年6月10日、第1回五木村議会 定例会を午前10時から開会。

会期を6月12日までの3日間とした。今回6月定例会では、繰越の報告2件、農業委員会の委員の任命6件、固定資産税評価員の選任1件、条例の一部改正案件7件、補正予算案件3件を上げ。五木村一般会計予算に1億4,328万円を追加、総額26億3,787万9千円とした。また、五木村特別会計「国民健康保険特別会計」79万9千円を追加、総額1億6,962万4千円。「簡易水道事業特別会計」102万4千円を追加、総額1,897万1千円とした。

一般会計補正の主な新型コロナウイルス感染症防止関連対応予算で内容は、総務費で、「五木村の仕事と暮らしの体験ツアー」関連費の減額、民生費の「敬老式典」中止の減額。

高齢者生活応援事業450万円、農林水産物出荷支援給付金250万円、造林保育間伐補助金524万円、村内集会所に設置するマスク・検温器等の購入費207万円を計上。

また、11日は、4人の議員が一般質問を行い村長および担当課長にそれぞれ村政について質した。

最終日12日に教育委員の選任が追加提案され慎重審議、質疑を行い全議案ともに全会一致で可決成立した。

### — 新型コロナに対応した五木村の実施事業 —

事業名	予算額(万円)
村民健康維持支援事業（健幸ポイント事業）	15
高齢者生活応援事業（75歳以上1人、2人暮らし高齢者支援）	450
農林産物等生産者事業継続支援事業（道の駅物産館への出荷者）	250
造林（保育間伐、切捨て間伐）	524
避難所等感染対策事業（避難所へ検温器、消毒液、マスク、間仕切りなど）	207
オンライン授業準備事業（タブレット、webカメラなどの関連備品）	479
小中学校網戸設置業務委託	150
器械卓子等、消耗品費（非接触式体温計等）	136
合計	2,211



昨年の敬老式典

## — 農業委員会の委員 —

農業委員名	行政区	担当地区
松井秀夫	九折瀬	九折瀬・入鴨・梶原・下梶原
森下徳光	西谷	宮園・松尾野・中道
中村恒雄	平沢津	上平瀬・白岩戸・平沢津・端海野・中村・山口・内谷
中村弘信	瀬目	瀬目・葛の八重・大平・下谷・頭地・野々脇
印道清子	下梶原	・中立委員
尾方繁之	栗鶴	栗鶴・西谷・平野・八重

※中立委員とは、農業者以外の者で中立な立場で公正な判断をすることができる者を1人以上入れることになっている。

### — 固定資産評価員 —

・竹村 文秀（行政人事異動による）

### — 教育委員の選任 —

・樫木 晴美（上平瀬）

## — 主な質疑 —

- 五木村と仕事と暮らし体験ツアー業務委託料（企画費）の減額は、地域活性化センター助成金の不採択によるものであった。不採択の理由、不採択になった場合の事業実施等について質した。（早田吉臣議員、岡本精二議員、西村久徳議員）
- コロナ対策の高齢者生活応援事業委託料（予防費）は、利用された方に応じて実績として補助をするので、委託料から補助金へ変更が適切ではないかと質した。（岡本精二議員）

## 議案審議の結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	岡本精二	早田吉臣	藤本新一	中村俊也	黒川麻里子	川邊正美	西村久徳	審議結果
議案第39号 農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第40号 農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第41号 農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第42号 農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第43号 農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第44号 農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第45号 五木村固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第46号 固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第47号 報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第48号 五木村税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第49号 五木村手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第50号 五木村国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第51号 五木村後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第52号 五木村介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第53号 令和2年度五木村一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第54号 令和2年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第55号 令和2年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第56号 教育委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 経営持続化給付金に6,100万円

村独自の支援策として、新型コロナウイルス感染症拡大に影響を受けた村内の事業者の経営の安定を図り村内の従業員の雇用を確保するための「五木村新型コロナウイルス感染症対策経営持続化給付金」の創設、交付に要する経費として6,100万円補正予算を全会一致で可決。また、子育て世帯に児童1人当たり1万円を給付する。

「子育て世帯への臨時特別給付金」171万8千円も全会一致で可決した。令和2年5月8日、第2回五木村議会臨時会を開会。会期は1日間。五木村一般会計予算に1億7千2百9万7千円を追加、総額24億9千4百55万9千円を上程、一般会計予備補正は、国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」を村民1人当たり10万円を一律給付する「特別定額給付金」として1億937万9千円。「子育て世帯への臨時特別給付金」171万8千円。

また、村独自の支援策として、「五木村新型コロナウイルス感染症対策経営持続化給付金」6,100万円。また、財産取得（ごみ収集車）について提案された。

全議案、全会一致で可決した。承認2件についても全会一致で承認した。

- ・専決処分の承認を求めることについて（五木村税条例の一部を改正する条例）
- ・専決処分の承認を求めることについて（五木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

## 五木村新型コロナウイルス感染症対策 経営持続化給付金

村内の事業者で新型コロナウイルス感染症拡大に伴い影響を受けた者に対し給付金を支給し、事業者の持続的な経営の安定と雇用の確保を図る目的で制定

村内で事業を営んでいるもので、前年同月比で事業収入が

- (1) **15%以上減少**した中小企業及び個人事業主は減収額の1/2

上限 **100万円**まで支給

- (2) **50%以上減少**し、かつ新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資を受けている

中小企業は減収額の1/2

上限 **800万円**まで支給

事業収入比較対象期間は、令和2年1月から令和2年12月までで、給付期間は、令和2年5月から令和3年3月まで。



# 耕作放棄地の解消対策は

木下村長 県や先進地を参考に取り組みたい



藤本新一 議員

## 耕作放棄地の問題について

**質問** 高齢化で年々耕作放棄地が多くなっているが、村長の受け止めは。

**村長** 中山間地域の直接支払支援制度を活用し維持管理を行なっているが、将来続くか危惧している。

**質問** 村長は、村内農地を20haと言われたがその数値をどう算出されたのか。

**村長** 焼畑農地の地目では80haで、現耕作の農地は20haと農林課では捉えている。

**質問** 端海野、子別峠の農地で洋ラン、イチゴ等の生産業者が活用されていたが、今では少なくなり、カヤが茂る状況にある。村長は見ているのか。

**村長** 私も回ったときに確認している。

**質問** 耕作放棄地が多くなると、動物エリアが広まり、人が住めなくなる。抜本的な対策が必要ではないか。

**村長** 補助制度を活用しながら猟友会と連携し、議会とも協議したい。

**質問** 高齢でネットも張れないため、竹やカヤが自生している。村で刈り取る考えは。

**村長** 担当課と検討し、議会とも協議したい。

**質問** 我が村の農地は小面積で生産コスト高で付加価値を付ける加工が必要と思うが。

**村長** 現在のところ二次加工、三次加工までの考えまでに至っていない。

**質問** 球磨村では、耕作放棄地対策と農業振興に向け、地域おこし協力隊を活用し

た対策をしている。我が村でも取り組む考えは。

**村長** 伺っているが、五木村では県の農業普及技術職員を派遣されており、クネブ普及、ニンニクの作付け等を取組んでいるが、地域おこし協力隊の募集も検討したい。

**質問** 県内の市町村で耕作放棄地対策を行う先進地を調査し、我が村も解消に向けた取り組みが必要と思うが。

**村長** 担当課で調査し参考にして取り組みたい。

**質問** 熊本県も我が村の振興を実施されている。耕作放棄地解消対策事業も要望が必要ではないか。

**村長** 県の方へ先進地の事例も参考にし耕作放棄地の解消に取り組みたい。

**質問** 我が村は林業も農業も担い手不足であるが、村の経済構成をどのように考えているのか。

**村長** 重要な問題であり、各団体と協議を重ねて対策を考えたい。

**質問** 耕作放棄地対策として農業法人化し、若い方の

雇用の場を作る考えは。

**村長** 小面積農地で機械化が出来ない面もあるが耕作放棄地を解消する意味では検討も必要。

**質問** 農地の所有者は、個人管理より村で管理をお願いしたいとの考えもある。村長の考えは。

**村長** 村民が村に管理を求めると状況であれば担当課で検討も必要と思っている。

**質問** 今回農業委員に選任される方には耕作放棄地の解消に向けた取り組みをして頂きたいが。

**農林課長** 農地のパトロール等を行なっており、耕作放棄地の件も今後も協議をしたい。



耕作放棄地



岡本精二 議員

# 災害時の避難所について、

## 見直し検討されたか

森田総務課長 見直し検討を行った

### 災害時の避難所について

**質問** 昨年12月に作成された五木村防災マップの中の避難所として第一避難場所20カ所、第二避難場所9カ所、第三避難場所4カ所を避難場所として指定されているが、見直し・検討はされたか。

**質問** 新型コロナウイルスの流行により、雨期を前にして感染症防止のため避難所についても見直しが必要ではないか。また、3密（密閉・密集・密接）を防ぐため、村の対応は。

- 森田総務課長** 示したポイントが6項目あるが、村としてどのような対応か。
1. 可能な限り多くの避難所を開設し、ホテルや旅館の活用を検討
  2. 親戚や友人宅への避難を検討するよう住民に周知
  3. 到着時に避難者の健康状態を確認。避難所では手洗いとせきエチケットを徹底
  4. 十分な換気やスペース



避難所（五木村伝統文化伝承館）



防災マップ

- の確保に留意
5. 発熱などの症状が出た人に専用のスペースやトイレを確保。一般避難者と場所・動線を分離
  6. 自宅療養中の軽症者対応を事前に検討
- 総務課長** 避難所の確保については、未指定の公共施設等の有効活用を図りたい。

**新型コロナウイルスの感染症防止について**

**質問** 「新しい生活様式」の実践について、五木村新型コロナウイルス対策本部よりお願いがあったが、今後感染症防止のため村としてはどのような対策を考えているか。

**総務課長** 「新しい生活様式」として村民の方々に実践をしていただきたい。



# ウェブ Web(遠隔)会議は

木下村長 将来的には可能にしたい



早田吉臣 議員

**質問** 新型コロナウイルス感染症防止の働き方はどのように変わるのか。

**村長** 役場内では、手洗い、手指消毒、マスクの着用、定時的な窓の開放での換気を行っている。時差出勤、在宅勤務などは行っていない。

**質問** 在宅勤務はインターネットを使った計画書などのやり取りは出来るのでは。

**村長** 窓口業務などが大変混雑しているので、まだそこまで踏み込んでいない現状だ。

**質問** 町村会などの会議をウェブ(遠隔)会議、例えばzoom(ズーム)や、skype(スカイプ)など使う予定はないか。

**村長** 6月15日に球磨川水系の防災会議をウェブ会議

でという連絡は受けている。

**質問** 町村会で1か所に集まると、往復で2時間くらい要するのでその2時間を短縮するためにもウェブ会議を活用しないのか。

**村長** 時間の有効活用、働き方改革を踏まえるとそうだと思う。将来的には可能かなと思っている。

**質問** 働き方改革、感染症防止対策などで住民との距離が離れないような対応策は。

**村長** 行政情報については、いつきちゃんネルなどを使いお知らせしていく。また、新しい生活のありようについてはそのサービス低下が起きないように取り組む。

## 新しい生活様式の支援について

**質問** 買い物支援や独り住まいの方々などの安否確認なども含めて支援を行うとあるが社会福祉協議会との協議はされるのか。

**村長** 社会福祉協議会とは別メニューとしてシルバー人材センターを活用しながら行っていく。

**質問** 「げんぞう会」や「脳いきいき教室」などの再開はいつからどのように行われるのか。

**保健福祉課長** 「げんぞう会」は6月2日から、「脳いきいき教室」については、6月3日から、再開している。告知放送を使い案内している。

**質問** 参加者に対してのコロナ対策、例えば検温の記録などは行っているのか。

**保健福祉課長** 体調が悪い方には事前に連絡をお願いして、体温計が無い方については検温をする体制をとっている。また、一定の距離を取りながら開催して

いる。

**質問** イベントなどにおけるガイドラインなどはどうするのか。

**村長** スポーツ活動や体育館の使用、会議室の在り方などについては、区長会、いつきちゃんネルなどで示していきたい。

**質問** 国の2次補正予算でICTを活用した予算の枠があるので非接触の検温計の導入を行ったらどうか。

**村長** 2次補正のメニューについても幅広く検討したい。



げんぞう会



黒川麻里子 議員

## 広報誌を活用した

## クーポンの発行を

高田ふるさと振興課長 有効な手段だと考えている

### 新型コロナウイルス感染症対策 持続化給付金について

**質問** 持続化給付金の現在のまでの申請・給付状況は。

**ふるさと振興課長** 6月11日の時点で7件の申請がされている。申請金額は約1千万円程度となっている。  
**質問** 既に給付は始まっているか。

**ふるさと振興課長** 給付が完了している事業所もある。また、聞き取りをしたところ申請の準備を進めている事業所もある。  
**質問** 事業主の困っていることや不安、反応等はヒア

リングできているか。

**ふるさと振興課長** 「村から情報提供してもらったことで、国、村双方の給付を受けられた」「限度額に達するまで何度でも申請ができる点は柔軟でありがたい」「今回のコロナ関連の各種制度により当面の経営については何とかしのげるのではないかと「他の自治体と比べて手厚い支援だと思う」といった声を頂いている。

### 広報誌を活用したクーポンについて

**質問** 飲食店や小売店は地

域のコミュニティ維持に重要な役割を担っている。だが、店舗によっては観光客をターゲットとした料金設定をしており、村民が利用しづらいという声を聞く。地元のお店を利用してもらうために、広報誌を利用したクーポンの発行を検討してはどうか。

**ふるさと振興課長** 村民の方にはぜひ村内のお店を利用して頂きたいと考えているが、溪流ヴィラITSUU KIを例にすると、施設のコンセプトや付加価値から言って観光客向けの料金設

定となっており、村民の方が利用しにくいのも事実である。村民向けのクーポンについては経済のテコ入れにおいて有効な手段であると考えている。国の新型コロナウイルス対策の第2次補正に伴い、村の経済対策も現在精査中である。何よりも村民にとって一番利用しやすい経済のカンフル剤として、効果的かつ有効的な方策を打ち出したい。

### ゴミの増加について

**質問** 3月の人吉球磨広域行政組合議会定例会において、3年連続でゴミが増加しており、前年比で304トンの増と報告があった。本村のゴミの状況は。

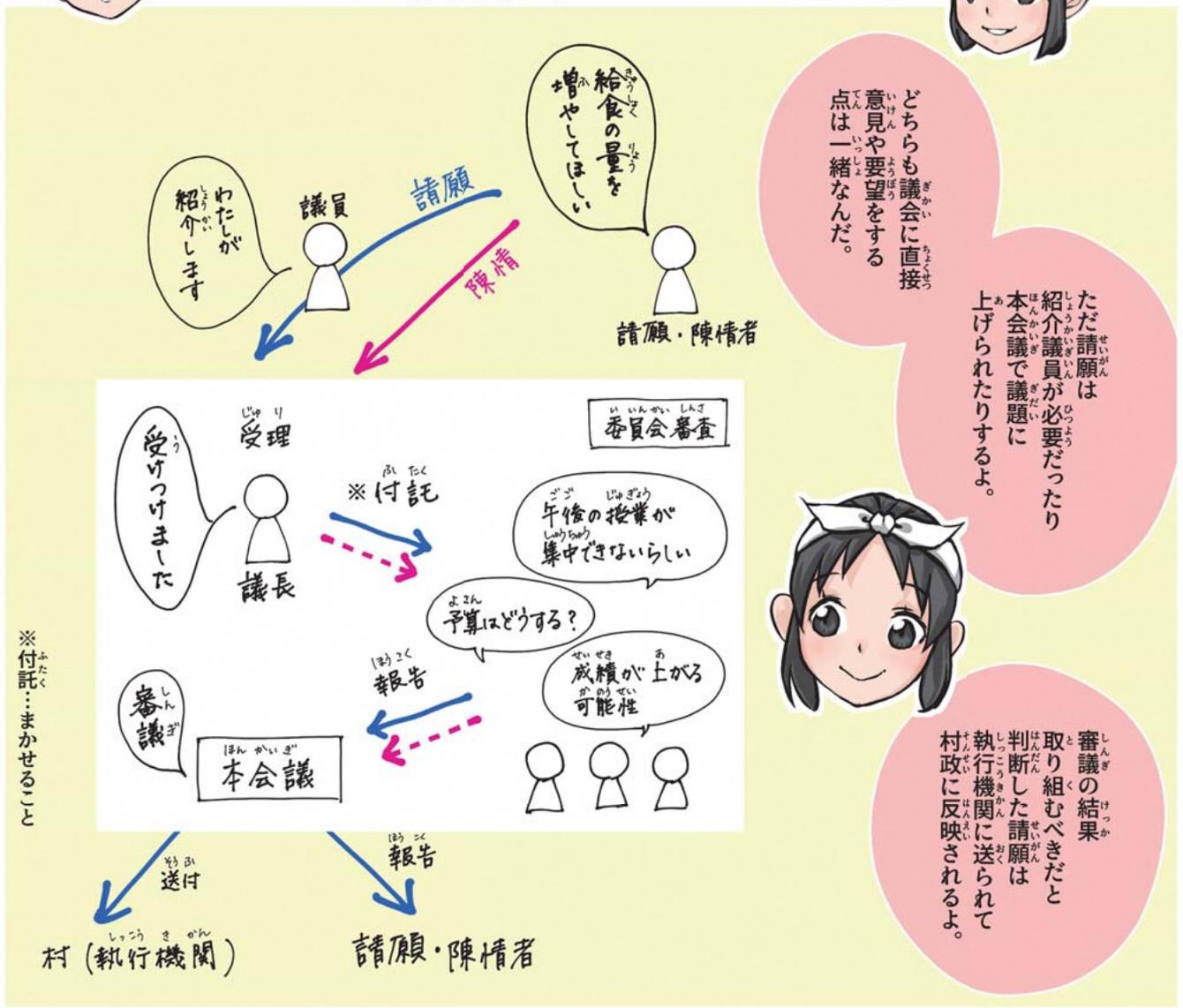
**保健福祉課長** 平成29年は前年比3・84トンの増、平成30年は前年比2・88トンの減、令和元年は前年比4・53トンの増となっている。  
**質問** 人吉球磨広域行政組合ではゴミの削減に向け、「ごみ分別アプリ」や「食べ

切る運動」等がなされているが、本村で独自にしている取り組みは。



ごみ分別アプリ

**保健福祉課長** 広報での啓発の他に、ゴミ削減の勉強会や保健福祉課の事業説明会を行っている。また役場内では全職員を対象とした研修会や、各課にリサイクル推進委員を1名配置している。その他に庁舎入り口に廃プラスチック回収コーナーを設置している。  
**質問** 報告を見る限り、五木村は他市町村と比べるとゴミの増加量が少なく優秀である。ゴミの量を削減するためには他市町村の努力が必要だが、リーダーシップを発揮し、ゴミの削減に努める考えはあるか。  
**村長** 人吉球磨の貴重な自然環境を後世に残すため、環境に優しい取り組みを率先して行っていく必要がある。五木村においても自然が豊かなところが売りであるので、各市町村会と会合の折には率先してお願いして参りたい。



追跡

あれから  
どうなった？

## 防災行政無線の デジタル化

村では、災害等の有事の際の情報発信手段として、防災行政無線（アナログ）と光ケーブルによる告知端末（やいつきちゃんネル）があるが、防災行政無線のデジタル化を図るため平成30年度から「防災行政無線デジタル化二次整備事業」として取り組んでいる。しかしながら先の6月議会定例会において事故繰越しを行なった。経緯としては、平成30年9月21日に整備工事（475,200千円）が契約、同時に設計管理業務（9,612千円）契約された。その後、11月に簡易中継局整備工事（11,2

86千円）も追加契約し、平成31年度（令和元年度）へ繰越された。整備の方は中継局の位置の変更やそれに伴う給電方法の変更などに時間を要し、今年度へと事故繰越しされた。同報系無線（各地区中継局での放送）は6月に完了したものの、移動系無線（消防団等が使用する移動式無線）については、白髪山付近の中継局整備が12月までかかる見込みである。今回のような災害がいつ発生するかわからないため、早急な完成と各世帯への無線端末機の設置を議会では要望している。



令和2年12月全面開局予定

## お見舞い申し上げます

令和2年7月3日からの梅雨前線に伴う豪雨により、人吉市をはじめ球磨村、県内や全国で多くの自治体で災害が発生しました。お亡くなりになられた方々にご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

村内では、人的被害はなかったものの、孤立集落の発生や国道、県道、

村道等あらゆる箇所での崩壊や土砂流出等により生活道が寸断され、さらに電気・水道・電話（携帯電話）などのライフラインも被害がありました。しかしながら各関係機関の御協力のもと、現在では、何とか片側通行や迂回路を使ってはあります。が、被害前の生活に戻りつつあります。



## 五木村に帰ってきました

もりした  
森下  
みか  
美香さんに  
聞きました。



### ② 仕事(勤務先)について

私は五木村社会福祉協議会に勤めています。仕事内容としては主に一人暮らし二人暮らしの方の家を訪問して、体調確認をしたり、安否確認、買い物支援、弁当配達など行なっております。また、げんどう会や脳イキ教室などの送迎も行なっております。お年寄りの方の話を聞いて、心配事や困っていることがある時は、少しでも手助けしてあげたいと思っています。

### ③ 五木村での生活はどうですか？

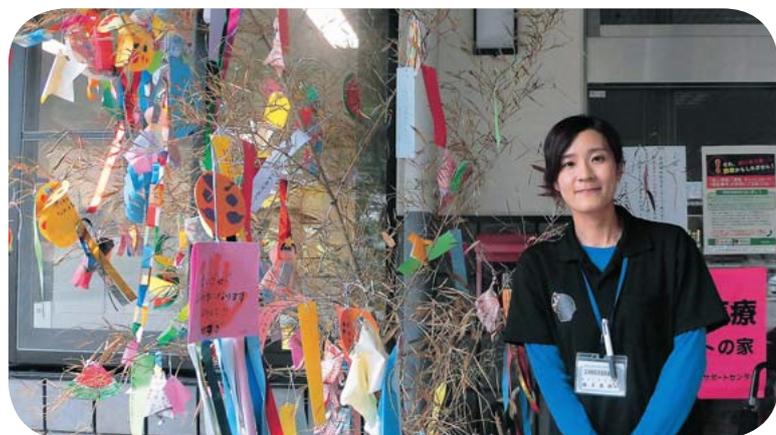
五木村は自然に囲まれて、空気がとてもキレイなので、暮らしやすいと思います。また、村民の方々が優しく、声をかけてくださるので、とても住みやすい所です。

### ④ 村や議会に対しての要望などありますか？

お店が少なく、買い物思うように出来ない、揃わない

① 自己紹介  
はじめまして、森下美香と申します。現在は瀬目に家族4人で暮らしています。それまでは、三重県で13年間キャディの仕事をしていました。私の趣味はゴルフです。でも五木村に帰ってからは、なかなかゴルフが出来ていないので、まずは頑張っって練習したいと思っています。

と困っておられる方が沢山いますので、何か対策をお願いしたいです。  
また、コロナウイルスや災害など、暗いニュースばかりなので、村民の方が不安に過ごされることがない、明るく、活気のある五木村に早くなってほしいと思います。



### ● 議会の動き (4月～6月) ●

- 4** 1日 定例全員協議会 (全議員)  
広報委員会 (第1回)  
9日 定例郡議長会議 (岡本議長)  
10日 広報委員会 (第2回)  
17日 広報委員会 (第3回)  
21日 臨時全員協議会 (全議員)  
22日 例月監査 (中村監査委員)  
24日 広報委員会 (第4回)

- 5** 1日 議会運営委員会 (各委員)  
8日 第2回議会臨時会 (全議員)  
13日 定例全員協議会 (全議員)

- 21日 例月監査 (中村監査委員)  
22日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会 (川辺議員)  
28日 定例郡議長会議 (岡本議長)  
29日 人吉球磨広域行政組合議会第2回臨時会 (黒川・川辺議員)

- 6** 2日 議会運営委員会 (各委員)  
3日 定例全員協議会 (全議員)  
10日 第2回議会定例会開会 (全議員) ~ 12日閉会  
17日 定例郡議長会議 (岡本議長)  
18日 臨時全員協議会 (全議員)  
24日 例月監査 (中村監査委員)



# 笑顔あふれる五木っ子

VOL.2

五木村議会だより

やまめ

133号

2020.7.31発行

## ぼくのふるさと五木村

月 日 曜日 日直

五木東小学校 6年

土屋 連くん



ぼくの、五木村の好きなところは、建ち並ぶ建物と、山々が見せる深い緑との対比です。頭地などの集落を見ていると、五木村が緑あふれるところということを忘れてしまいそうです。そして、集落と集落をつなぐ道は、山々の緑が覆い、その先に集落があることがうそのようです。この対比があって、車で通ると冒険でもしているのではないかと錯覚してしまいます。

そんな五木村をなくしたくないです。そのためにも、将来人口が増えてほしいです。それで村がなくならないようにしたいです。

## つぶやき

「明けない夜は無い。」や「まない雨は無い。」と云う言葉がある。

しかし、7月4日からの雨は梅雨の真っ只中とはいえホントに止むのかどうか、未曾有の雨量となった。そして、五木村だけでなく近隣の市町村、球磨川流域で甚大な被害を受けた。

ある報道番組に出演していた元知事が、球磨川の安全度の議論は、どうであったのか「川辺川ダムの有効性」の議論と「無い場合の住民安全確保」は、だれが判断し責任を持つのか再度検証をすべきではないかと提言していた。

まさに五木村は、川辺川ダムに翻弄されてきた。そして、五木村議会は、平成22年12月議会で議員決議した経緯がある。

安全安心した暮らしは、いつ訪れるのだろうか。

― 記 ―

川辺川ダム建設計画による五木村の衰退を実際に体験した者として、将来に再び川辺川ダム建設が動き出すような事態を迎えた場合は、二度と過去の歴史を繰り返さないよう、くれぐれもダム計画による五木村の繁栄に期待しないよう願つ。

早田 吉臣

次回の定例会は9月中旬の予定です。  
皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏